

臨床医と医療側弁護士との対話による 「トラブル・紛争カンファレンス」

開催方法

Zoomウェビナー形式

事前申込制

お申込み用
QRコード



全5回

4月～8月
実施

基本アカウント

66,000円

同一組織で2名の視聴・登録が可能です。

追加アカウント

33,000円

同一組織で基本アカウントに追加で申し込まれる場合、追加1アカウントで2名視聴可能です。

※全5回コースのみ
いずれも税込み

参加費

御堂筋法律事務所と顧問契約を締結していただいている医療機関、2017年～2019年に開催したセミナー「臨床現場で役立つ法律のエッセンス～法的ケーススタディ～」の受講者は半額

基本アカウント 33,000円

追加アカウント 16,500円

セミナースケジュール一覧

第1回 4/28 水
18:00～19:00

「急変事例で見るトラブル・紛争対応体制」

- 急変事例に対して、トラブル・紛争対応という観点で何をすべきでしょうか。
- トラブル・紛争対応にはどのような体制を構築し、どのように組織の方針を決定すればよいでしょうか。

第2回 5/26 水
18:00～19:00

「意思決定と説明義務」

- 高齢者、酷訂患者、未成年者の意思決定・治療への同意はどのように考えるべきでしょうか。
- 「説明義務」はどのような場面で求められるのでしょうか。限られた診療時間で何を説明すべきでしょうか。

第3回 6/30 水
18:00～19:00

「ガイドライン・添付文書と過失判断/事故調査」

- 「過失の有無」はどのように判断するのでしょうか。ガイドライン、医薬品添付文書、専門家の意見などはどのように考慮したらよいのでしょうか。
- 事故調査はどのような姿勢で、何に注意して進めたらよいのでしょうか。

第4回 7/28 水
18:00～19:00

「カルテ記載の重要性/組織幹部・弁護士の使い方」

- カルテ記載はなぜ重要なのでしょうか。どのような場面で何を記載することが身を助けるのでしょうか。
- 現場だけで進めず、立ち止まって組織幹部や弁護士に相談すべきなのはどのような場面でしょうか。

第5回 8/25 水
18:00～19:00

「逸脱患者・家族対応と応招義務」

- 暴言・暴力・迷惑行為を行う患者・家族に現実に対応したらよいのでしょうか。
- 応招義務はどのような義務でしょうか。応招義務違反にならないためにはどのように対応すべきでしょうか。

※各回、実例に近いケースをもとに、臨床医と弁護士のディスカッションでお送りします。※いずれもライブ配信の日時です。ライブ配信を視聴できなかった方には録画したものを配信する予定。

「トラブル・紛争カンファレンス」とは?

医療従事者にとって①「法律のエッセンス」を知っておくこと、その上で、②法律の考え方を実際の患者さんへの対応でどのように落とし込むか、臨床現場と法律をどう調整するかの考え方を知ることはとても重要です。このセミナーでは、
① **前提となる法律知識(法律条文、行政通知、裁判例等を含むレファレンス資料)を提供します。**
② **ケースをもとに、臨床医と弁護士が対話することで、「医療現場と法律の調整」を実際にお見せします。**
「対話」の中で浮かび上がってくるものが皆さんのお役に立てばと考えています。

講師紹介

弁護士

山崎 祥光

弁護士法人御堂筋法律事務所パートナー

2003年 京都大学医学部医学科卒業
2003年 京都大学医学部附属病院研修医
2007年 京都大学法科大学院卒業
2011年 井上法律事務所入所
2016年 御堂筋法律事務所入所
2021年～ 現職

一貫して医療機関・医療従事者側に立ち、顧問先医療機関を中心に、有害事象発生直後からの相談・助言を含め、医療紛争・医療訴訟・捜査機関対応を行っている。

× 長谷川 剛 医師

上尾中央総合病院 特任副院長

1991年 筑波大学医学専門学群卒業
2007年 自治医科大学医療安全対策部教授
2014年～ 上尾中央総合病院院長補佐就任
2018年～ 現職

医療の質・安全学会理事、日本医療病院管理学会評議員等医療安全の専門家として活動するとともに、現在も臨床現場に立ち、病院幹部として医療現場での紛争・有害事象に対応し続けている。

※写真は両名が対話形式で実施した「個人情報とプライバシー」(SafetyPlus@エルゼビア社)の動画より